

島さんの「女性の日記から学ぶ会 三十周年のつどい」に参加しましたので、報告します。
よろしくお願いします。

「女性の日記から学ぶ会（代表：島利栄子さん）」の「三十周年記念のつどい」が7月11日佐倉市ユーカリが丘で開催された。

日記の会は、島代表のリーダーシップの下、これまで30年にわたり活発な研究活動が続けてきた。
会の活動は、会誌：日記ろまんの発行（令和8年で87号）、吉田得日記ほかの出版、シャルレ女性奨励賞・NHK放送協力賞・水木十五堂賞の受賞など輝かしい成果をだしてきた。

最近10年では、会に寄贈された4000点を超える貴重な日記資料の目録が出来たことも素晴らしい。
また、NHKはじめ報道各社にも何度も取り上げられ、草の根のような地道な活動は、大変貴重な文化活動になった。

残念なことに日記の会を支えてきた島さんのご主人秀光さん（深志12回卒）が昨年12月に亡くなりました。これに対し参加者からも多数のお悔やみの言葉が述べられていた。（合掌）

参加者は約100名、あきつ会メンバーでは、水津幸一、吉川勝子、降旗勝夫が出席した。

当日の写真、①、②島さんの挨拶と記念講演、③今回刊行された「日記の会の三十年の歩み」、④7月12日の信毎新聞の記事（吉川さん入手）を添えます。女性の日記から学ぶ会の益々の発展と、島さんが今後もお元気で活躍をされることを祈念して報告とします。

降旗勝夫